

運営会議の報告

(令和3年11月～令和4年1月)

1 開催日

令和3年11月22日

(1月については第3回地域自立支援協議会の資料確認のため、日程を変更して2月中に実施予定)

2 内容

各部会及び連絡会、計画相談の進捗状況の報告を行いました。

また、第2回自立支援協議会の資料確認を行いました。

3 関連活動について

障がい児通所支援事業所連絡会では、第5回春育フェア（令和3年11月25日、11月26日）を開催しました。2日間で157名の方（出展者を除く）にご来場いただきました。全体交流会（令和4年2月28日予定）は、昨年度に引き続きズームで開催することとし、今年度は支援方法について、グループワークを行う予定です。

就労系事業所連絡会では、全体会（令和4年1月27日）を開催しました。

市内20か所の事業所から参加があり、就労系事業所における在宅支援の実例の紹介や支援方法、事業所の運営などについてグループワークを行いました。

4 来年度の自立支援協議会について

(1) 医療的ケア児等支援連絡会

令和元年度に特別支援学校や障がい福祉サービス事業所、保護者の会、訪問看護ステーション、障がい者生活支援センター等の関係者を構成員とし、地域に暮らす医療的ケア児等の支援体制について検討してきました。

社会資源や災害時の対応方法等必要な情報が集約されていないことが分かり、「医療的ケア児等が利用できる社会資源等の情報」を作成することに

なりました。取り組むべき課題が明確化されたことにより、来年度より部会として活動し、「医療的ケア児等が利用できる社会資源等の情報」を本人や家族、支援者、関係機関に提供します。

(2) 相談支援連携部会

平成27年度より計画作成率の向上と相談員の連携を目的に部会として活動してきました。計画相談支援の必須化を平成30年9月から令和2年8月まで段階的に進めた結果、令和3年12月末の計画相談支援の利用状況は、障がい者で約86%、障がい児で約78%となり、計画作成率の向上については、部会設立当初の目的を達成することができました。これにより、部会は今年度をもって終結することとし、来年度より、計画相談支援の質の向上と相談員同志のさらなる連携に重点を置いた活動をはじめます。事例検討や情報共有、各制度の勉強会を主な内容とし、現在、各障がい者生活支援センターと事務局で開催方法等について検討しています。